

地域につながる、「生きる」に寄り添う「広場」のような、場所でありたい。

ポランの広場

Vol.
44

独立行政法人
国立病院機構 花巻病院 [広報誌]

2018年7月1日発行

TAKE FREE

一度出会ったら、
忘れられない絶景



ポランの広場

44

2018年7月1日 発行

❖ 病院理念

当院で一番大切な人は患者さんです。
寄り添い、想像しながら、ともに前に。

❖ 運営方針

1. 公的病院としての役割を担い、精神医療並びに重症心身障害児（者）医療の向上に努めます。
2. 地域に開かれた病院を目指します。
3. 臨床研究と教育・研修・情報発信に努めます。
4. 個々の職員がその専門性を発揮し、質の高いチーム医療を目指します。
5. ムリ・ムダ・ムラのない病院経営を目指します。

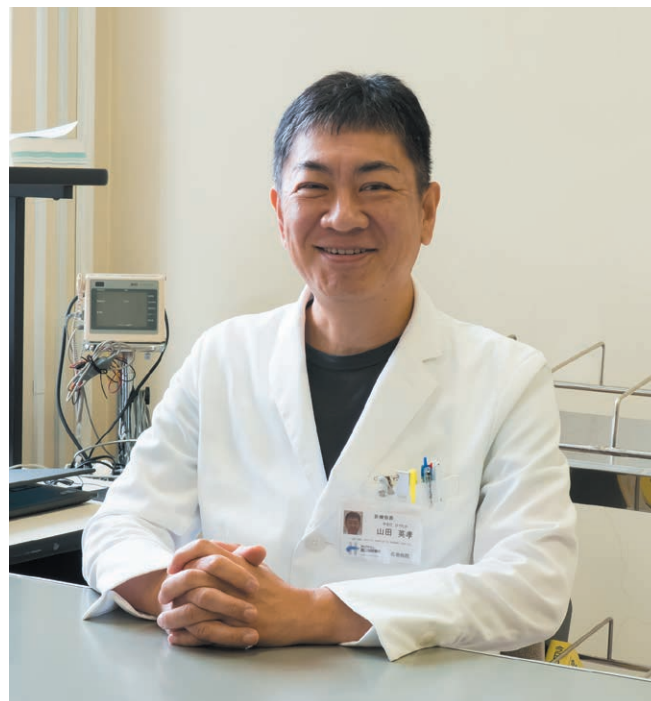
今回の表紙



天の川

岩手山の南麓、網張温泉から見た天の川です。
花巻の詩人・宮澤賢治も岩手山から広がる天の川を眺めながら、はるかな銀河へ想いを馳せていたのではないのでしょうか。

写真：八木深



HIDETAKA YAMADA



山田

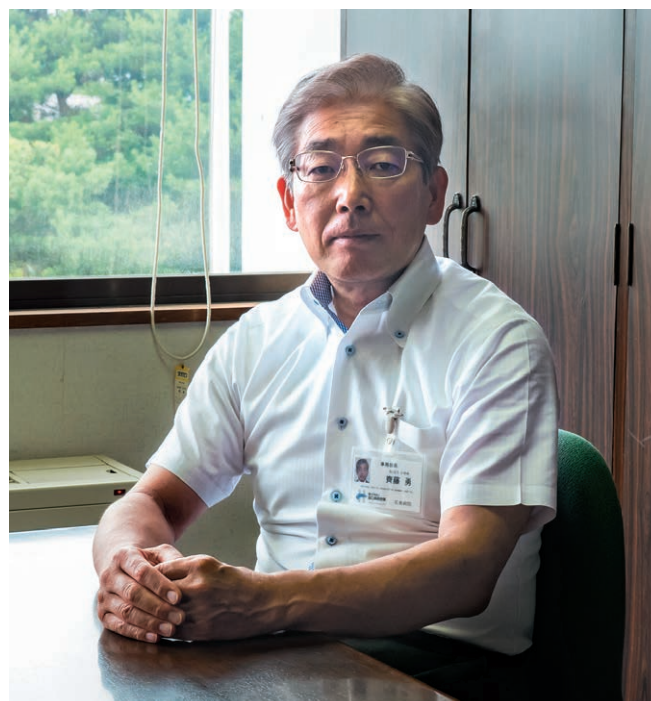
英孝

.. 花巻病院診療部長

ご挨拶

花巻病院に赴任して

ISAMI SAITO



齊藤

勇

.. 花巻病院事務部長

4

月から診療部長として赴任しました。
前任地は久留米大学医療センターで、外来のみのひとり医長を7年間勤めていました。また、それ以前は10年ほど国内外で精神薬理の基礎を勉強していましたので、病棟で入院の患者さんを受け持つのは10数年ぶりになります。この間、精神医療を取り巻く環境は大きく変わっていて、赴任して3ヶ月が過ぎましたが、勘を取り戻すことに悪戦苦闘しています。

生まれも育ちも九州で、岩手はもちろん、東北には全く縁がありませんでした。たまたま昨秋に震災後のこころの支援で大槌町に派遣され、岩手の方々の人柄と美味しい食べ物、そして日本酒に一目惚れ

平

成30年4月に米沢病院から花巻病院にまいりました事務部長の齊藤と申します。

私の出身地は岩手県山田町で、釜石病院に採用され楽しい？青春時代を過ごしました。仙台に転勤後、各県を異動しましたが、岩手県内ではなかなか勤務できず、今回30数年ぶりに岩手県内で勤務することができました。

どうぞよろしくお願いいたします。

花巻病院は、医師不足が大きく影響し経営状況は厳しく、平成29年度決算も赤字が見込まれ、「経営が厳しい病院」として平成30年度の重点改善病

して、岩手県で仕事がしたいと思い花巻病院の医師募集に応募しました。充実した毎日を過ごすことができて、受け入れていただいた八木院長はじめ病院スタッフの方々に感謝しています。

「真実を知りたいと思う情熱と辛抱強く探求を続ける忍耐力、それに、少しの幸運」が研究に必要なことかなと思いながら続けてきましたが、久しぶりに臨床に戻り同じことを感じています。もちろん全てがうまくいくことばかりではありませんが、辛抱強く患者さんに寄り添っていかれたらと思っています。

院に指定されましたが、院長先生始め職員の皆様、患者数増に向けて懸命に努力を続けて来ており、少しずつ結果も現れるようになり、病院の雰囲気は明るいと感じています。

精神科中心の病院という特色を生かして、他施設とは違う様々な取り組みも行っており、未知のことも多く戸惑うこともありますが、職員の皆様と一緒に更に良い方向に改善し、花巻病院の発展に尽力してまいりますので、ご支援とご協力をお願いします。



第25回

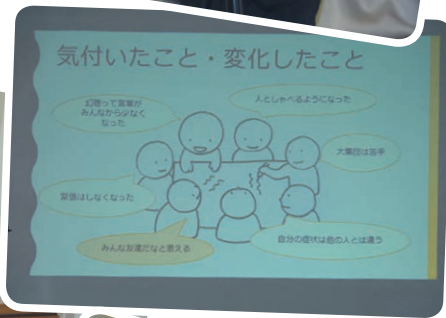
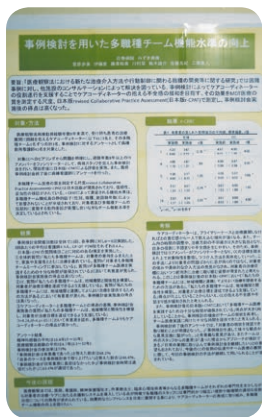
花巻フォーラムを開催して

✂ 安藤 秀行：契約係長

第 25回花巻フォーラムが3月9日（金）に開催された。今年度は口頭発表、ポスター発表ともに6題が選出され、多職種から種々のテーマ・事例・病態の研究内容について活発な議論が交わされたところである。

まず前段として、国立病院機構が掲げ推進する事業展開の骨格をなす臨床研究事業。その研究成果の醸成を促すことを示唆する活動こそ、まさに同フォーラム開催の意図する趣旨であり、当然ながら一過性の院内行事ではなくその歴史は国立療養所時代にまで遡る。

認知症を含む精神医療ならびに重症児（者）医療～療育活動をチーム医療として実践・推進していく傍ら、医療職・福祉職を中心にその専門性を発揮した研究活動、症例検討に日夜勤しんでいるスタッフは珍しくない。職種の垣根を超え、スタッフ教育の一環として捉え、各種関連学会への参加や病院間報告会、交流会、圏内における地域医療研究会への参画、成果発表、その情報発信にも終始余念がない。このようなソフト面に特化した充実ぶりが日常における質の高い医療の提供、或いは医療ニーズへの即時対応にひもづく形となっているのが他でもない当院チーム医療の厚みであり強みでもあると自負している。



さて、余談はさておき、当日は特別講演として埼玉県立大学教授 大橋 秀行氏を招き、「精神科リハビリテーションとリカバリー」をテーマに、精神科リハビリテーション技能の手技・手法について、従前の運用や慣例的なルールに囚われない、ある意味では特異な技法への転換を図ることの意義・重要性を語られた一方、効果的なプログラム機能の実践・実証評価の紹介をはじめとした、同氏の当事者研究を通じた成功体験に裏付けされるプログラム活動内容の一片を象っても、社会復帰支援に関わる当院スタッフにとって極めて有益となる内容であった。

多職種が精神医療に携わり、各々の見地で支えている。これまでの当事者への介入方法に対して、アプローチ手法の底上げ、一定の技術的なメルクマールを体得できた実りある時間となった。



最優秀賞受賞表彰





看護技術研修の様子。写真左から注射、心電図・吸引、採血

topics
01

平成30年度 新採用者研修を開催して

✍ 駒林みわ子：わかば病棟副看護師長

4 月4～5日に平成30年度採用の看護師12名に対する新採用者研修を実施いたしました。看護部の教育体制や諮問委員会の紹介、精神科・認知症概論、コミュニケーションスキル、重症心身障がい児（者）病棟の看護をはじめ、採血や吸引等の技術研修にも真剣に取り組んでいました。既卒

看護師と新卒看護師が仲間として、今後も切磋琢磨していきます。嬉しい事、不安な事など仲間と共有できることが沢山あります。不安と期待を持って日々業務に励んでいる事と思います。新採用者を温かくご指導よろしくお願いします。



意見交換会



WELCOME /



感染予防対策研修



コミュニケーション技術



topics
02

大船渡市被災者心の健康づくり事業に係るメンタルヘルス事業について

✍ 浅沼 充志：地域支援係長

当 院では、大船渡市より事業委託を受けて、前年度から掲題事業に参画している。

大船渡市では、東日本大震災以降、被災者心の健康づくり事業の一環として、アルコール関連問題に対する支援を実施してきた経緯がある。大船渡市は、元々の飲酒に寛容な地域性に加え、コミュニティの再編期にある中で飲酒動機の気運的な高まりが懸念される状況があるという。

このような現状に対し、当院としては、これまで病院が培ってきたアルコール関連問題に対するアプローチの方法や支援方法のノウハウを活かし、地域のニーズに可能な限り応えていければという思いから本事業への参画を推進しているところである。



平成29年度は、精神保健福祉士と心理療法士の専門スタッフを中心に、支援者向け研修会（3回）、コンサルテーション、家族相談等の事業活動を展開した。今年度も引き続き本事業へ参画・推進する見通しであり、一次予防を視野に入れた活動に取り組んでいるところである。

topics
03

平成29年度 認知症疾患医療連携協議会を開催して

✍ 高館 純子：医療社会事業専門員

3 月7日（水）に認知症疾患医療連携協議会を当院にて開催しました。認知症疾患医療連携協議会とは、岩手県中部医療圏域の行政・保健医療・介護機関等の方々を委員として招聘し、地域の認知症疾患をとりまく現状や課題について共有・検討し、連携強化を図る事を目的として年に1回開催しています。

本会では、平成29年度の当院認知症疾患医療センターにおける実績報告と、市内本館病院医療福祉相談室 井上 宜之氏より同院で平成30年度開設の認知症治療病棟について話題提供をして頂きました。参加した委員からは、「顔の見える機会となった」等の感想を頂き、更なる連携強化を図るうえで貴重な機会になったと思われます。



皆さんもご存知のとおり、2025年以降には75歳以上の高齢者が増加し、医療・介護の需要が急増される状況となることは必至です。我が国が掲げる地域包括ケアを推進するため、このような地域の連携強化を共有する場は、益々重要になってくると実感しました。



平成30年4月1日付
異動者・採用者

①出身地 ②趣味 ③抱負



看護師長（わかば病棟）
鈴木 大介

①秋田県秋田市
②釣り

③ 4月より花巻病院に配属になりました鈴木と申します。これまでに先輩たちが築いてこられた花巻病院の歴史と伝統を大切に、花巻病院の名に恥じぬよう努力して参ります。どうかご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。



保育士
菊池 純子

①岩手県岩泉町
②旅行（温泉）

③ 4月に転動で花巻病院に来ました。わかば病棟に勤務しています。日々新たな経験があり、患者さんからも学ぶことが多くあります。患者さんたちが楽しく安心して過ごせるように周りのスタッフの皆さんと共に支援させていただきたいと思います。



看護師（かなん病棟）
佐々木 幸江

①岩手県北上市
②ドラマ・映画鑑賞

③ スタッフの皆様に親切にご指導いただき、新たなことを学ぶことに緊張感がありながらも新鮮な気持ちで過ごしており、4月からあっという間に3ヶ月が過ぎようとしています。皆様にご迷惑をおかけしないよう今後も努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします！



看護師（さくら病棟）
藤井 春加

①岩手県花巻市
②居酒屋メニューを自分で作って食べること

③ 4月からさくら病棟でお世話になっております藤井春加です。精神科で働くのは初めてですが「笑顔」で患者さんに接しながら一生懸命がんばりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



看護師（さくら病棟）
新沼 志野

①岩手県大船渡市
②美味しいお酒探し

③ 初めての業務で分からないことだらけの中、優しい先輩方のご指導のもと日々楽しさを忘れず学ぶことのできる環境に感謝しています。患者さんに信頼していただける、温かい看護師になれるように頑張っていきたいです！



業務班長
嶋森 学

①秋田県秋田市
②天体観測

③ 岩手県内での勤務は盛岡病院について2ヶ所目となります。花巻市には宮澤賢治に由来する施設等があり、ゆっくり巡ってみたいと思っています。病院の運営についても職員の皆様と一っしょに盛り立てていきたいと思っています。よろしくをお願いします。



一般職員（契約係）
成田 圭甫

①宮城県仙台市
②サッカー、サッカー観戦、血洗い

③ 今年の4月から花巻病院契約係に採用されました成田圭甫と申します。働き始めて約3ヶ月経ちましたが、やらなければならないことや覚えなければいけないことがたくさんあります。しっかり1つずつ仕事をこなす少しでも早く病院に貢献できるようにがんばります。よろしくお願いします！！



看護師（かなん病棟）
泉谷 有美

①青森県五所川原市
②温泉巡り

③ 今年4月から初めての精神科勤務となり、日々精神科看護の難しさや、やりがいを感じながら楽しく仕事をさせていただいています。高齢化社会や精神障がい者の地域移行への援助などのニーズへ対応できるよう、幅広い知識を習得したいと考えています。



看護師（かなん病棟）
梅川 ふみ

①岩手県花巻市
②読書、昼寝

③ 3月に看護学校を卒業し、4月よりかなん病棟に配属となりました梅川ふみです。まだまだいっぱい日々の毎日ですが、病棟の先輩看護師さんや患者さんにも助けていただきながら、あっという間の3ヶ月でした。早く仕事を覚えて一人前の看護師になれるよう頑張っていきたいと思っていますので今後ともご指導よろしくお願いいたします。



看護師（さくら病棟）
福盛田美津子

①岩手県釜石市
②特になし

③ 精神科勤務は初めてで、とまどうこともあります。患者さんたちと会話することを楽しんで働いていきたいと思っています。よろしくお願いします。



看護師（さくら病棟）
小田島 遼

①岩手県紫波町
②漫画、美味しい物を食べに行くこと

③ 今年からさくら病棟に配属になりました小田島です。新しい環境になり、緊張もしております。知識も技術も未熟ですが、早く一人前になれるよう頑張ります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導よろしくお願いします。



看護師（みずき病棟）
佐藤 裕子

①岩手県
②ドライブ

③ 精神疾患を併発している患者さんの看護をする中で、精神看護に興味を持ち、より精神看護を深めたいと思うようになりました。早く1人1人とじっくり向き合った看護が実践できるように自己研鑽に努めたいと思います。



看護師（わかば病棟）
上野 まみ

①岩手県北上市
②ドライブ

③ 就職して3ヶ月経ち、まだ不安なところが多いですが元気に頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。



営繕手
古舘 武彦

①岩手県花巻市
②旅行

③ 私は、昭和29年生まれ、花巻南ICの近くに住んでいます。以前は卸売りの製綿会社（綿の製造、ふとんの打返し、販売）に勤めていました。今の職業は違いますが、早く仕事を覚えて1人でも修繕ができるように頑張りたいと思っています。



看護助手（かなん病棟）
菅野 千恵子

①岩手県北上市
②映画、芸術、美術鑑賞、ONE OK ROCKのコンサート、道の駅巡り

③ 4月から採用になりました看護助手の菅野です。一日も早く仕事に慣れ、お役にたてるように頑張りますので、よろしくお願いいたします。

平成30年5月1日付
異動者・採用者

①出身地 ②趣味 ③抱負



事務助手（庶務係）
新山 智子

①岩手県北上市
②旅行

③ 今年の5月から事務助手として庶務班で働く事になりました新山智子と申します。慣れないことばかりですので、まずはしっかりと仕事を覚えていきたいです。1日でも早くテキパキと仕事をこなせるよう頑張りますので、どうかよろしくお願いします。



看護師（みずき病棟）
小田中 るりか

①岩手県紫波町
②カフェ巡り、温泉巡り

③ 今年の春より花巻病院に勤務することになりました。先輩看護師の方々を見習って、早く仕事を覚えられるように日々がんばっています。患者さんに寄り添う看護を自分なりに展開できるよう取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。



看護師（わかば病棟）
高橋 亜希子

①岩手県北上市
②寝ること、山登り

③ 先輩方に丁寧に指導していただき、徐々に職場に慣れてきました。患者さんとの関わりやケアも楽しく感じています。どうぞ、よろしくお願いします。



作業療法助手
佐々木 仙子

①岩手県宮古市
②スポーツ鑑賞

③ 未経験の仕事ですが、挑戦し取り組みたいと思っています。よろしくお願いします。



看護助手（みずき病棟）
高橋 淳子

①岩手県北上市
②家庭菜園

③ 4月から採用になりました高橋淳子です。3月31日に定年になり、4月からは当院で働かせてもらえる事に感謝しています。明るく楽しく仕事ができるようがんばりたいです。



第一精神科医長
後藤 章

①秋田県秋田市
②特になし

③ 微力ながらお手伝いできればと思います。

今回、新たな仲間になった21名。

不安と期待を持って日々業務に励んでいる事と思います。

新採用者を温かくご指導よろしくお願いします。

春を感じる お花見テーマの行事食

4 月17日（水）に行われた観桜会（入院及びデイケアの患者さんを中心とした院内行事）では、春（花見）をテーマにした行事食を患者さんへ提供しました。



本日の献立

- ちらし寿司
- すまし汁
- おひたし
- デザート

エビ、アナゴ、卵、きゅうり、甘酢生姜と色とりどりの具を乗せたちらし寿司と、春を告げる食材である菜の花のおひたし、春らしいデザートにはいちごのロールケーキを出しました。すし酢の酢にはカルシウムの吸収を高める・疲れを取る・食欲を増進させる・防腐作用などの優れた効果があります。菜の花は、βカロチン、ビタミンC、カルシウム、鉄分等、豊富な栄養素をバランスよく含んでいます。免疫力を高め、風邪予防の効果が期待できます。

✎ 富手 保果：主任栄養士

日頃のイベントや自慢のスタッフをご紹介します

花巻病院の 縁の下の力持ち 中央施設管理室!!

今 回は当院の中央施設管理室を紹介したいと思います。中央施設管理室とは、ボイラー技士3名、営繕手1名、自動車運転手1名の計5名からなる、ボイラー管理や建物設備管理を担う部署ですが、当院の中央施設管理室は一味違います。「自分達で行えることは全てやる。」をモットーに、普通に買えば10万円はするおむつ交換車を、看護師さんの意見を取り入れ自作したり、患者さんのご意見で駐輪場が足りないとの話があれば、院内全面禁煙で使用しなくなった喫煙所の屋根を、基礎工事から行い移設して駐輪場にするなど、患者さんや職員が困っていることにいつも対応してくれています。また、建物管理以外にも春～秋は草刈り、冬は朝早くから雪掻きなど、患者さんや職員が快適に過ごせるようにしてくれています。数えたらキリがないくらい病院を支えている、無くてはならない自慢の中央施設管理室です。

✎ 箱崎 衛：庶務班長



●リハビリテーションコラム

目からウロコ...!??

✎ 渡邊 謙：理学療法士

今回、リハビリコラムという事で担当させていただく渡邊です。『目からウロコな話』ということでテーマを受けましたがなかなか良いものが思い浮かばず…(笑w)ということで、私が理学療法士としてリハビリ手技を行っている中で意外と忘れがちの方が多く感じる動作を紹介したいと思います。

さて、皆さんは立ち上がる時の動きはどのように行っていますか？足腰が弱くなったことで、手摺りを使ったり、膝に手を当てて「よっこいしょういち」なんて呪文を唱えながら立ち上がったりすることはないでしょうかw?? そんな方にぜひ試していただきたい動作があります。それは…立ち上がる時にしっかり足を引き、お辞儀しながら立つ!!『えっ…?』なんて声が聞こえてきそうですが、割と単純なようでできていない方が多いように感じます。

もちろん様々な理由で立ち上がりが難しい方もいらっしゃいますが、足腰の力が弱くなってきて立つのがツライと感じている方、しっかりとこの動きができていないか意識してみてくださいね(^^)／



●薬剤師さんのお薬相談室

湿布薬の使い方

✎ 麻生 陽：薬剤師

この広報誌が発行される頃には、梅雨明けしているでしょうか。夏が来れば、薄着で外出される方も多くなるかと思います。時には湿布薬を貼りながら戸外活動に勤しむ方もいらっしゃるかもしれませんが、屋外で湿布薬を使用する際に注意が必要な点があります。

病院で処方される湿布薬の一部には、貼った部位を日光に当てることにより、腫れやかぶれなどを生じるものがあります。この現象は光線過敏症と呼ばれています。これは、薬の有効成分が紫外線を浴びて構造が変化し、それによるアレルギー反応が起こるためと考えられています。

光線過敏症の予防策は、湿布を貼った部位に紫外線を当てないことです。湿布薬使用中は、曇りの日でも濃い色の長袖やサポーターを着用するなどし、患部を日光にさらさないように気を付けましょう。

また、湿布薬をはがした後も、患部に残っている有効成分により同様の症状が生じる恐れがあります。使用後少なくとも4週間程度は、紫外線対策をする必要があります。





精神科専門療法のご案内

01

精神科デイケアについて

当院では、精神疾患の受療中で、比較的通院・服薬ができて
いる方や、主治医がデイケア利用の必要性を認めている方を対象に
精神科デイケアを開設しています。開所日は平日の9時30分から15時30分まで
の1日利用制となっており、専属の心理療法士、看護師を配置しています。

デイケアでは、社会参加コースとして、主として集団活動を通じて集中力を向上
させ、他人との適切な距離の取り方や疾病との付き合い方を学ぶ各種プログラム
を実施しています。また、就労支援コースとして「仕事ミーティング」を実施してお
り、近隣の作業所やハローワークに赴き、復職への準備を行うなどのリワークプロ
グラムも実施しています。



02

精神科作業療法について

当院では、作業療法士を複数名配置しており、精神疾患等を
有する方の日常生活或いは諸活動をサポートすることで回復させ
る治療を行っています。「作業療法（OT）」は多岐にわたります。日常生活に特化
したものから、対人コミュニケーション、社会復帰、対象者に合わせて種々のプ
ログラムを実践します。主なプログラム内容として、手工芸、ゲーム、歌（カラオ
ケ）、スポーツ、病棟OTでは調理・外出訓練を実施しています。生活技能訓練
（sst）を使ったコミュニケーション訓練も実施しています。



03

精神科訪問看護について

当院では、専門スタッフ（看護師・精神保健福祉士）が精神
疾患をお持ちの方や、心のケアが必要とされている方々を対象に、
直接ご自宅や入所施設にお伺いし、生活上の相談をお受けしたり、助言・援助
などのトータルサポートを包括的に実施しています。病気の不安や、生活の不安、
人間関係の不安や、ひいては就労の不安など、精神疾患をお持ちの方の苦悩に
対して専門スタッフがきめ細かなケアやサービスを通して包括的に支援します。



外来診療について

- 外来受診は、予約制となります。
- 新患予約受付については、地域支援室（内線520）までご連絡願います。
- [受付期間] 平日（土・日・祝日・12/29～1/3を除く）9:00～17:00
- 予約後の日時変更については、平日15:00～16:00にご連絡願います。

編集後記

除雪に苦勞した厳しい冬を越え、新たな仲間を迎えた4月に咲いた見事な桜
は、院内に華やかな彩りをもたらしました。最近では梅雨から夏へと向かう様子を感じ
る日々ですが、自然豊かな花巻病院の環境が繊細な季節の移ろいを伝えてくれて
いるのだと気付かされます。私たちが魅力溢れる花巻病院の情報を広くお伝えで
きるよう取り組んでいく所存です。本広報誌への忌憚ないご意見・ご感想も是非お
待ちしております。 【広報委員・S】

